

# 浅口未来プロジェクト通信

夢や志をもち、積極的に  
人や社会に関わろう  
とする子どもの育成

令和2年8月21日  
浅口市教育委員会  
学校教育課 特①号

**地域の皆さんや保護者の皆さんとともに 浅口の子もたちの生活や学習を 充実させていきます!**

## 六条院小学校を皮切りに 学校運営協議会 始まる!

5月21日(木)、今年度最初の学校運営協議会[学運協]が開催されました。今年度から市内の全小・中学校で学運協の取組が始まりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の取組により、いつ会議を開いて本格的にスタートすればよいか、悩まれたことと思います。地域の皆さんの熱い思いと、日々変化する全国や岡山県の状況を考慮しながら、開催準備を進めてくださっていた先生方、会長さんや委員の皆様方ありがとうございました。

この日は、11人の委員さんが、今年度の取組について熱心に議論してくださいました。六条院小学校の学運協では、桃作りや稲作という体験活動を柱に据えながら、「地域を愛し、チャレンジ精神や思いやりの心に富んだ子どもたち」を育てていこうとしています。7月28日(火)の第2回学運協には、岡山大学大学院の熊谷慎之輔教授も参加されました。



六条院小の学運協  
[R2.5.21(木)]



鴨方東小の学運協[R2.6.3(水)]

## 鴨方東小学校で 第1回学校運営協議会

6月3日(水)には、鴨方東小学校の第1回学校運営協議会[鴨東小つながり推進協議会]が開催され、委員さんと教職員の代表の計19名が話し合いました。委員長、副委員長の選出に続いて、校長から、今年度の教育目標や学校経営計画、新型コロナウイルス対策の取組の様子等の説明がありました。そして、今年度のCS[コミュニティ・スクール：学校運営協議会が設置された学校]の組織や活動計画について協議されました。今年度は、まだ新型コロナウイルス対策の取組が続くことが想定されるので、昨年度末に計画した原案から、通学合宿等の取組を中止して活動を絞り、できることを充実させようという方向性が共通理解されました。

## 鴨方西小学校も 学校運営協議会スタート

6月5日(金)午後4時から、最初の学校運営協議会が開催されました。鴨方西小学校では、すでにひまわりの種植えなど、学運協の取組が始まっていますが、ここで1年間の活動について共通理解を図りました。

委員長、副委員長の選出に続いて、校長から、今年度の学校教育目標や学校経営方針の説明がありました。協議の中で、CSの目指す子ども像「自分を大切に他人も大切に作る子ども」というこれまでの共育目標に「地域を大切に作る子ども」を加えました。また、学習部会で「八幡神社語り部」活動、環境部会で月2回の生花整備活動が始まることになりました。



鴨方西小の学運協[R2.6.5(金)]

地域の皆さんとひまわりの種植え[R2.5.28(木)]

## チューリップ畑から ひまわり畑へ

鴨方西小学校のチューリップ畑[写真右]が、ひまわり畑に変身するそうです。昨年11月に鴨方西小学校の学校運営協議会[鴨西わくわく応援隊]の皆さんのご支援により、植え付けたチューリップでした。今度は、ひまわりの種まきです。5月28日(木)、小学生145名と応援隊の皆さん20名で種まきをしました。

この日は、応援隊の皆さんが、種まきのために早朝から各畝に穴をあけてくださいました。そして子どもたちが、地域の皆さんと一緒に約800個の種を植え付けました。その後、子どもたちも水やりや草取り等の管理をしながら、ひまわりの成長を見守っていきました。

8月になって、ひまわりは昨年同様にきれいな花を咲かせました。種の収穫ができれば、地域の皆さんにお配りする計画です。



春を彩った鴨方西小の  
チューリップ

## 鴨方中学校で 今年度の学運協スタート

6月16日(火)の午後、本年度の最初の学校運営協議会が開催されました。会長、副会長が選出され、14名の委員さんと鴨方中学校長をはじめ、計6名の先生方も参加し、熱心に話し合われました。

まず、学校長が、本年度の学校経営計画について説明しました。研究主題は、「子どもたちが輝くクラスづくり・授業づくり ～言葉葉を大事にして、ほめて、認めて、励まして育てよう～」です。

次回の学運協は、8月28日(金)の午後の予定です。その日には、中学生の代表も参加する方向で検討しています。

そして、それに先立って、7月30日(木)には、鴨方中学校ブロック4校の学運協の代表の方々が参加され、中学校区としての活動方針や計画を検討しました。鴨方中学校でも、学校独自の取組と4校で連携した取組の両方を考えながら活動していきます。



鴨方中学校の第1回学運協 [R2.6.16(火)] 写真上は学校長挨拶、下は研究主任の説明



学運協での高瀬教授のご指導(金光中)[R2.6.17(水)]



寄島学園第1回学運協[R2.6.25(木)]



各校・園長の説明



梶井教授のご指導[左]

## 金光地区は4校合同で 第1回学校運営協議会

昨年度、時間をかけて準備に取り組んできた金光中学校区4校の学校運営協議会が、6月17日(水)、金光中学校で開催されました。

会長、副会長が選出され、15名の委員さん方が、令和2年度の取組について話し合いました。

金光地区では、目指す子ども像を「広い視野と思いやりの心をもった、心身ともに元気で明るく前向きな子」と設定し、CSの取組を、小・中学校4校で連携してスタートすることになりました。義務教育9年間を、小1～小4年、小5～中学1年、中学2年～3年生の3ステージに分割して考えていくことで、小中一貫教育の趣旨も踏まえた取組になりそうです。

この日は、岡山大学大学院の高瀬淳教授も参加していただき、他の学校の様子を聞きながら自分の学校について考えたり、各学校を回って会議をしたりすることのできる金光地区の4校合同のCSの取組について、意義深いと評価していただきました。金光地区の小・中学校では、委員さんからの提案を受けて、6月29日(月)～7月3日(金)の午後を、自由参観日として公開しました。この日も会議後に、授業を見ていただきました。[写真右] 8月6日(木)には、4校合同で熟議の会を開催しました。



## 寄島地区 第1回学校運営協議会

昨年10月から学校運営協議会がスタートした寄島学区では、6月25日(木)に、16名の委員さんが参加され、寄島こども園、竜南保育園、寄島小・中学校4校園合同の“寄島学園”としての学運協[よりしま魅力化推進協議会]が開催されました。

まず、寄島小学校長がこれまでの経緯を説明し、CS共育目標が「育てよう！生きる力と、もやいの心をもつ子ども」に設定されました。会長と副会長が選出され、会則や今年度の取組について話し合われました。

この日は、岡山大学大学院の梶井一暁教授も参加していただき、寄島学園の社会に開かれた教育課程について評価していただきました。特に「よりしま学」によって、「海」を素材にした様々な学習活動に取り組み、それをやがて波紋のようにあらゆる分野の学びに繋いでいってほしいとエールを送っていただきました。

その後、7月9日(木)に第1回部会[4部会]、8月21日(金)にワークショップが実施されました。